



止まらぬ偽警告の被害!!

平成28年6月以降、パソコンでインターネットを利用していた際に、「**ウイルスに感染しました。**」等との警告が出たため、表示された連絡先へ電話をかけたところ、駆除等の名目でクレジットカード番号と暗証番号を入力させられたり、プリペイド式クレジットカードを購入させられ、その番号を入力させられる被害が相次いで発生しています。

警告画面は偽物の可能性が高く、実際にはウイルスに感染していないことがほとんどなので、**表示された連絡先へ全体に電話をかけない**で下さい。

まずは、ウイルス対策ソフトによるウイルススキャンを行い、感染が確認された場合はウイルス対策ソフトの指示に従って対処して下さい。

ウイルス検出の警告が表示された場合の対処方法

Google Chrome の場合、図1(左)で「OK」をクリックすると図1(右)のポップアップメッセージが出現し、「このページを離れる」をクリックしても図1(左)が再度表示されるので、図1(右)にある「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」というチェックボックスをチェックすることで、繰り返しの表示を止めることができます。

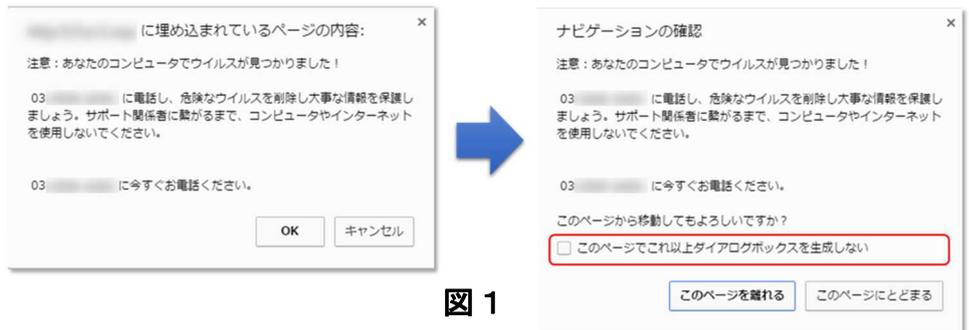


図 1

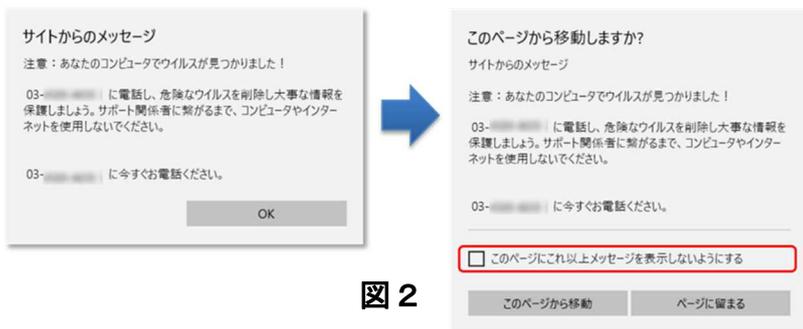


図 2

Microsoft Edge の場合も同様に「OK」や「このページから移動」をクリックしても、ポップアップメッセージが繰り返し表示されるので、図2(右)にある「このページにこれ以上メッセージを表示しないようにする」というチェックボックスをチェックすることで止めることができます。

Internet Explorer の場合は、タスクマネージャーを起動してタスクを終了させるか、そのままの状態でも再起動させるといった対処が必要となります。

※1 出典(独)情報処理推進機構(IPA):安心相談窓口「"ウイルスに感染した"という偽警告でサポートに電話するよう仕向ける手口に注意～最近ではブラウザの操作を妨害する手口も～」

※2 詳しくは IPA ホームページからご覧下さい。【<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20160621.html>】

サイバー犯罪（インターネットに関する犯罪）の通報やご相談は・・・

石川県警察本部生活環境課サイバー犯罪対策室



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp